

○三八上北森林管理署の「令和2年度採材検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材現地検討会等に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。

令和2年7月30日(木)に青森県十和田市奥瀬の谷地国有林で開催された「令和2年度三八上北森林管理署採材検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

晴天のなか、コロナ感染症予防のためマスクを着用をした上で、林業関係団体や県、市町村担当者、署管内の林業事業体など60名を超える参加者で開催しました。

会場はスギ皆伐箇所で開催され、今回の採材検討会ではスギ及びカツラの採材について検討を行いました。

署長挨拶後、青森事務所からは、現状の紹介として、最近の需要動向や販売状況について説明し、4m採材を原則とした採材をするよう指導させていただきました。続いて署担当者より、採材、造材から巻立までの考え方や留意点、不適當材等について資料をもとに説明があり、3本のスギ全幹材について、班に分かれて採材方法の検討を行い、検討した結果を発表、採材について意見交換を行いました。

併せて試供木として準備されたカツラについて、青森県森林組合連合会より用途や採材の説明がありました。

その後、今年度導入された、iPadにより林道沿いに積まれた丸太を写真撮影するだけで本数や材積を計測できるアプリ「AI丸太検知くん」を紹介・実演し、林業事業体等の参加者にも実際に使用してもらいました。

青森事務所では今後も採材検討会に積極的に参加し、国有林材の有効な利用に貢献して参りたいと考えています。

